

印西市水道事業経営戦略（案）

市民意見公募の意見の概要

●市民意見公募の結果

案件	印西市水道事業経営戦略（案）		
募集期間	平成29年2月1日（水）～平成29年2月15日（水）		
意見の提出	3件（1名）		
意見の取扱い	修正	案を修正するもの	0件
	既記載	既に案に取り込んでいるもの	1件
	参考	案には反映できないが今後の参考とするもの	0件
	その他	案には反映できないが意見として伺った	2件

●印西市水道事業経営戦略（案）に対する市民意見公募での意見及び対応

意見 番号	意見の概要	意見への対応
1-1	<p>印西市水道事業経営戦略（案）では、平成29年度～43年度までの15年間の長期戦略であるが、給水区域内の人口動態・給水人口・給水普及率の予測は、15年間ほぼフラットである。</p> <p>また、水需要の予測も、15年間で日量68m³の増加を予測している。加えて、料金収入の見通しも、供給単価実績251.12円/m³を基本として、変動要因として、ハッ場ダムの整備による、受水費の変動要因を加味していない。</p> <p>市営水道網の区域は、印西市の中でも少子高齢化と共に人口減少地域であり、15年間フラットな状況であるとは推定し難い。むしろ、現状の事業規模の水準維持は難しいと思慮する。</p> <p>現在の供給単価実績251.12円/m³は、1市2村の合併に際し、料金体系の見直しの産物であり、原価構成について、再度見直していくことが必要ではないか。</p> <p>ハッ場ダムの整備による変動要因は、建設計画から50年経ても、未だに完成しない事実を見ても、相当な変動要因、すなわち、現在の供給実績251.12円/m³の数倍となると思われる。</p>	<p>意見の取り扱い 【その他】</p> <p>◆既存の地区では、ご意見のとおり少子高齢化と共に人口減少すると考えられるので、給水区域内人口、給水人口ともに減少傾向になると見込んでおります。</p> <p>しかしながら、給水区域内には、引き続き入居が行われている開発地区があり、また、給水区域内の未普及地区への新規の管路整備の予定もありますので、この部分で給水人口の増加が期待できます。</p> <p>これらを合計して、計画期間内の給水人口は一定水準を保てると推計しているところです。</p> <p>◆本経営戦略（案）では、ハッ場ダムの整備による受水費の変動などの未確定事項は加味しておりません。</p> <p>ハッ場ダムについては、平成31年度に完成予定とされているところですが、完成により印旛広域水道の受水単価等がどのように変化するのか、現在のところ未確定となっております。</p> <p>今後、未確定事項が具体的に検討できる状況になりましたら、その重要性に応じて見直し等を検討することとしております。</p>

1-2	<p>おそらく、水道料金がなくて居住に適さない地域となる恐れがある。むしろ、印西市の最も優れた、天然資源である地下水を活用した方が、安価になる。</p> <p>一般家庭で井戸を掘ると、約50万円（掘削とポンプ・電気設備など一式）で出来る。30年償却と考えても、井戸のメリット大である。</p> <p>参考して欲しいのは、小生は、シンガポールで仕事をした経験があるが、水源池がなく、水道水をマレーシアからの輸入に頼るシンガポールよりも、印西市の方が供給単価は高い。</p>	<p>意見の取り扱い 【その他】</p> <p>◆印旛郡内は千葉県環境保全条例により、地盤の沈下の防止及び地下水の保全を図るために、水道事業の用に供する地下水の採取が原則として規制されており、現状では、新規の井戸掘削は大変困難だけでなく、現在保有している井戸についてもハツ場ダム等の水源が整備された場合、許可の要件がなくなる状況です。</p>
1-3	<p>老朽化の状況については、比較的に後発であることで、当面深刻でないように捉えているが、老朽化は幾何級数的に増加する傾向にあり、安心してしていると対応の遅れをもたらすので注意を喚起したい。</p>	<p>意見の取り扱い 【既記載】</p> <p>◆本経営戦略の経営方針に掲げているとおり、今後、更新や耐震化に関する計画を検討する予定であります。</p>